

平成29年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立今福小学校
作成日	平成30年2月1日

1 教育目標

- 「目標」は、現状の子どもたちにあった、適切なものであると考えます。
- 学ぶことの楽しさや喜びをもてる子ども育成のため、今後も、日々の授業にしっかりと取り組んでほしいと考えます。
- 心身ともに、健康な子どもの育成のためにも、子どもの基本的な生活習慣の確立や精神的な安定が大切だと考えます。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ●目標は適切であると思います。 ●今後も、地域への情報発信を心がけ、連携を密にしてほしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標は適切であると思います。 ●異年齢集団での活動(縦割り活動)を、今後も取り組んでほしいと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標は適切であると思います。 ●基礎学力の向上の取組や、朝の読書タイムの実施を、今後も継続してほしいと考えます。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の実態について、具体的にその情報を発信してくれていると思います。 ●地域の活動へ積極的な参加によって、地域との交流も増え、地域と学校が連携しているように感じます。 ●登下校の見回りや防災について、今後も、より密接な連携をしていくことが大切だと考えます。 ●図書ボランティアの協力もありよいと思います。 ●何か問題や課題があれば、相談できる体制があると思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習中の雰囲気や穏やかでした。 ●子どもは明るく、話かけにきました。 ●あいさつのできる子が増えていると感じました。 ●休憩時間、一人で過ごしている子や、欠席している子が少ないと思いました。 ●子どもらしい様子が多く見られました。 ●教室に季節感があり、掲示が充実していました。 ●子どもの様子を、先生方が共有していることは、よいことだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●落ち着いて授業を受けていると感じました。 ●個別の対応が必要な児童にも、適切に対処できていると思います。 ●読書や計算、書き取りなど、日々の積み重ねが大切だと思います。 ●校長先生のリーダーシップのもと、各教室は落ち着いており、よい授業等がなされていたように感じました。 ●机の配置や教室の掲示などに、工夫した取組が見られました。
(評価結果)に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ●学校だより「いまふく」は、日頃の児童の様子や 目指す目標などが示されよいと思います。 ●運動会や今福まつりなどの行事は、地域を交えて実施され、地域の人々との交流の場にもなり、「地域に開かれた学校」だと感じました。 ●地域の補導活動をはじめ、様々な地域の行事などに積極的に参加していてよかったです。 ●地域の様々な人たちとも、積極的に連携を図ることは難しいことだと思いますが、今後も、取組に努めてほしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の見守り活動により子どもたちと地域の人との交流する姿が見られるようになった。 ●時には競争する気持ちが必要なこともあると思います。そこに思いやりや、やさしさの心が生まれると思います。 ●学校へ訪問したときに、子どもたちからの挨拶は、とてもいい気持ちでした。 ●低学年で元気よく、学年が上がるにつれ静かになっていくように感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学力補充時間の確保や朝の読書タイムの取組は、よい取組であり、今後も継続を期待します。 ●家庭学習の充実を図っていくため、家庭との連携をより一層望みます。 ●全国学力学習状況調査の結果なども踏まえて、より一層、学力の向上を期待します。 ●家庭において、学校まかせではなく、学習のしつけも必要だと思います。今後も学校と連携して進めていくことが大切だと考えます。
次年度に向けての改善方法に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ●地域連携をより一層深め、学校の安心安全に今後も努めてほしい。 ●全職員で地域参加を心がけて、さらに地域との連携を図ってほしいと思います。 ●防災意識を共有する事も、今後も続けてほしいと考えます。 ●学校だけでなく、地域や保護者もよりいっそう連携していく心がけが必要だと思います。 ●気になる家庭環境の子どもの問題などについて、学校や地域も入り込みにくいことなど、今後課題だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●見守り運動に協力している方々と、子どもたちとの交流が今後もできるよう期待します。 ●あいさつや返事などは、家庭でのしつけが基本だと思いますが、なかなかできていない現状があるように思います。 ●子どもの縦割り活動を、今後も続けてください。 ●子どものこころの教育を道徳や人権教育を充実させていくことが大切だと思います。 ●家庭での教育の大切さを、認識する研修や機会が必要であると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭で、親子読書に親しむことは、大変良いことだと思います。 ●学年や子どもの状況に応じて、家庭学習の内容を出題したらよいと考えます。 ●職員の方の今後の指導にも期待し、より高い目標をめざして取組を進めてほしいと思います。 ●家庭教育は学力とは深い関係があるといわれていますが、学校が家庭環境などに入り込むことはなかなかできないことなので、家庭教育を、充実を図ることは難しいことだと思います。

3 その他のご意見

- 子どもの成長のためには、学校生活だけでなく、家庭生活が何より大きく影響するので、保護者と学校との密な連携が大切だと思います。
- 校長先生はじめ教職員が、安心・安全の学校を心がけ、登校指導や挨拶をしていることは、今後も続けてほしいと思います。
- 朝の読書タイムや放課後の基礎学力タイムなど、きめ細かな指導体制と配慮が感じられます。
- 今福の子どもを守る会を通じて開かれた学校のイメージが地域に広がっている。
- 子どもセンターや子どもを守る会など、地域と積極的な関わりがあると感じます。
- 今後も、少しでも良い方向に様々な成果が上がることを期待します。